平成27年度 商工労働観光部 運営目標

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
I ～エコノミック・ガーデニングセカンドステージへ～ 応援隊の伴走支援により中小企業の経営安定を支え、支援による発展の芽を育みます。			
1	「エコノミックガーデニング推進センター」を設置し、これまでの累計7万社15万件の企業訪問や府の支援による効果を分析し支援に活用するなど、エコノミック・ガーデニング支援体制を強化します。		
計画区分	京都力の発揮 産業革新・中小企業育成 特色ある多様な中小企業が育ち、発展すること		
達成手段 (数値目標)	①	「エコノミック・ガーデニング推進センター(仮称)」を設置し、成功事例の分析と応援隊への普及等情報共有の仕組みづくりを進め、エコノミック・ガーデニング支援体制を強化します。 ・エコノミックガーデニング推進センターの設置 ・支援データベースの共有化	◎ ◎ ・センター設置済み(部会活動中)(100%) ・補助金情報カルテ入力済み(100%) ・共有化済み(100%)
	②	上記センターに福祉・健康・医療分野の部会及びクール京都部会を置き、福祉・健康・医療分野に進出しようとする中小企業の新製品や伝統産業の新たな販路開拓を府の関係部局・機関が連携して支援します。 <福祉・健康・医療分野に進出しようとする中小企業の新製品の販路開拓:30件(㉗新規)> <クール京部分野での販路開拓件数:40件>	◎ ◎ ・福祉・健康・医療分野に進出しようとする中小企業の新製品の販路開拓 34件(113%) ・クール京部分野での販路開拓件数 159件(119%)
2	中小企業応援隊が年間3万社・5万件の企業訪問等により相談に応じ、企業ごとの課題解決に向け、最適な支援を行います。		
計画区分	京都力の発揮 産業革新・中小企業育成 特色ある多様な中小企業が育ち、発展すること		
達成手段 (数値目標)	①	中小企業応援隊が年間3万社・5万件の企業訪問等を行い相談に応じるとともに、応援隊に集まった企業情報や府の支援情報を活用し、企業ごとの課題解決に向けた、最適な支援を行います。 <企業訪問件数:3万社延べ5万社(㉘実績:23,171社、延べ52,738件訪問)>	○ ○ ・26,038社(87%)、延べ54,698件(109%)
	②	商工会・商工会議所の経営支援の外部評価制度を本格実施し、地域の特性を活かした取組を評価しフィードバックする仕組みを構築します。	◎ ◎ ・構築済み(100%)
	③	オール京都での産業振興の取組の集大成として、中小企業振興策のコントロールタワーとなると同時に、人づくりの拠点として中小企業が集い交流し、新たな価値を生み出していく経済中核施設の実現を目指します。	◎ ◎ ・プロポーザル公募実施選定事業者決定(100%)
	④	制度融資について、金利の大幅引き下げや、借換融資をはじめ制度を抜本的に見直し、セーフティネットとしての機能を強化します。また、経営支援との一体的な支援を更に推進し、中小企業の開業や、経営基盤の安定・強化の支援を倍増するなど、資金供給に万全を期します。 <倒産件数:300件以下(㉙実績:306件)> <借換融資の件数:2,000件(㉚実績:977件)> <開業・事業承継の融資件数:100件(㉛実績:52件)> <応援隊支援(保証料割引)制度利用件数(経営・金融の一体的伴走支援):250件(㉜実績:135件)>	○ ○ ・倒産件数 230件(130%) ・借換融資の件数 2,118件(106%) ・開業・事業承継の融資件数 101件(101%) ・応援隊支援制度利用件数 121件(48%)
	⑤	こうした支援等により、倒産に至るケースを抑制するとともに、売上増企業・黒字企業を大幅に増加させます。 <倒産件数 300件以下(㉙実績:306件)> <売上20%アップ企業:1,000社(㉚実績:集計中)> <欠損から黒字へ転換する法人:年間500社(㉛実績:集計中)> <欠損法人割合:72.4%(㉜実績:集計中)> <府内企業向け官公需発注割合:80%(㉝実績:集計中)> <中小企業への官公需発注割合:70%(㉞実績:集計中)>	◎ ◎ ・倒産件数 230件(130%) ・売上20%アップ企業 144社(小さな革新事業のみ) ・欠損から黒字へ転換する法人56社(小さな革新事業のみ)

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
3	<p>エコミック・ガーデニング推進センターの部会となる「福祉・健康・医療分野部会」では府によるチャレンジ・バイなどにより、また「クール京都部会」では「琳派400年」を活かした大琳派祭や首都圏商談会開催などにより、これまでの支援の結果生まれた製品の販路拡大等きめ細かく支援します。</p>		
計画区分	<p>京都力の発揮 産業革新・中小企業育成 特色ある多様な中小企業が育ち、発展すること</p>		
達成手段 (数値目標)	<p>① これまでの支援で開発した商品等の売上増を図るため、「エコミック・ガーデニング推進センター(仮称)」に「福祉・健康・医療分野部会」を設置し、京都や東京での商談会を企画・開催、チャレンジバイ補助制度を適用し、売上増進につなげるなど、オーダーメイドで支援します。 <福祉・健康・医療分野に進出しようとする中小企業の新製品の販路開拓支援: 30件(㉗新規)></p>	◎	・販路開拓支援件数: 34件(113%)
	<p>② エコミック・ガーデニング推進センターに「クール京都部会」を設置し、これまで支援してきた企業へのフォローアップ強化や販路開拓支援を行います。【再掲】 <クール京部分野での販路開拓支援件数: 40件>【再掲】</p>	◎	・クール京部分野での販路開拓件数 159件(119%)
	<p>③ 秋の京都国立博物館の特別展覧会に併せて、「大琳派祭」伝統産業フェスティバルを開催します。 <来場者数: 10万人(㉗新規)> <琳派関連イベント(テーブルウェアフェスティバル、琳派展での販売会、琳派ファッションショー) 出展・参加事業者数: 300事業者(㉗新規)></p>	◎	・来場者数 122,604人(123%) ・イベント参加事業者数 668事業者(223%)
	<p>④ 「琳派400年記念」をテーマに、京都産業育成コンソーシアムを中心に、オール京都による首都圏販路開拓事業を実施し、京都の知恵を生かした商品や企業を発信するとともに、企業のビジネスマッチングにつなげます。 <出展企業: 150社(うち伝統産業分野 60社)、来場者: 15,000人(㉗新規)></p>	◎	・出展企業数 169社(282%) ・来場者数 17,190人(115%)
4	<p>中小企業が異業種・異分野の交流の中で、新しい市場の創造をめざし、製品やサービスの開発を行うグループ活動「企業の森」を推進します。</p>		
計画区分	<p>京都力の発揮 産業革新・中小企業育成 特色ある多様な中小企業が育ち、発展すること</p>		
達成手段 (数値目標)	<p>① 異業種・異分野の交流・連携による業界・業種を越えたコラボレーションにより、新ビジネスの立ち上げのためのグループ活動を支援します。 <異業種等のコラボレーションによる新ビジネス数: 10プロジェクト(㉖実績: 10プロジェクト)></p>	◎	・12プロジェクト(120%)
	<p>② KICKの入居候補となる共同研究グループの新たな組成及び研究テーマの高度化を支援します。【政策企画部共管】 <高度化を実現した研究開発数: 10件(㉗新規)></p>	◎	・11件(110%)
	<p>③ 自らの「強み」を生かしイノベーションに取り組む「元気印中小企業」を増加させ、京都経済の活性化を図ります。 <「元気印中小企業」新規認定企業数: 25件 (㉖実績: 13件)></p>	◎	・29件(116%)

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
5	サービス業も含めたあらゆる業種での開業支援や事業継続支援により、府内の事業所数減少に歯止めをかけます。		
計画区分	京都力の発揮 産業革新・中小企業育成 特色ある多様な中小企業が育ち、発展すること		
達成手段 (数値目標)	① 開業率アップを図るため、創業から安定経営までのハンズオン支援を強化します。 ・サービス産業分野の開業を支援するコワーキングスペースを開設 ＜府内コワーキングスペースのネットワーク化による開業支援件数：100件(27新規)＞	◎	・コワーキングスペースのネットワーク化による開業支援件数 345件(345%)
	② 中小企業の事業継続に係るあらゆる課題の解決をトータルで支援します。 ＜事業継続支援センターによる事業継続のサポート：年間500件 (26実績：500件)＞	◎	・事業継続支援センターによる事業継続のサポート 561件(112%)
	③ 中小企業応援隊が年間3万社・5万件の企業訪問等を行い相談に応じるとともに、応援隊に集まった企業情報や府の支援情報を活用し、企業ごとの課題解決に向けた、最適な支援を行います。【再掲】 ＜企業訪問件数：3万社延べ5万社(26実績：23,171社、延べ52,738件訪問)＞【再掲】	○	・26,038社(89%)、延べ54,698件(104%)
	④ 制度融資について、金利の大幅引き下げや、借換融資をはじめ制度を抜本的に見直し、セーフティネットとしての機能を強化します。また、経営支援との一体的な支援を更に推進し、中小企業の開業や、経営基盤の安定・強化の支援を倍増するなど、資金供給に万全を期します。【再掲】 ＜倒産件数：300件以下(26実績：306件)＞ ＜借換融資の件数：2,000件(26実績：977件)＞ ＜開業・事業承継の融資件数：100件 (26実績：52件)＞ ＜応援隊支援(保証料割引)制度利用件数(経営・金融の一体的伴走支援)：250件(26実績：135件)＞	○	【再掲】

運営目標			達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)		
Ⅱ ～京都産業リバイバル～						
京都を支える商店街や伝統産業が再び魅力を取り戻す取組を進めます。						
6	商店街の再生・復興を推進するための官民の新たな体制として「商店街創生センター」を設置し、府内300の商店街のそれぞれの状況や課題に応じて伴走支援を行い、シャッター店舗に3年間で100店の新規出店を実現するなど新たな顧客を呼び込みます。					
計画区分	京都力の発揮	産業革新・中小企業育成	伝統産業や生活文化産業が新たな発展を遂げること			
達成手段 (数値目標)	①	「商店街創生センター」を設置し、それぞれの商店街の特性・意向に応じた創生戦略を策定するとともに、民間団体・企業等と協同し、商店街の活性化を促進します。 ・商店街創生センターの創設			◎	・10月5日開設(100%)
	②	「商店街創生センター」が核となり、不動産事業者等と連携した仕舞た屋の店舗再開や空き店舗のショーケースの活用など、商店街が活力を取り戻す取組を支援します。 ＜仕舞た屋の新規出店:3年間で100件(㉗新規)＞ ＜一商一特など特徴ある事業に取り組む商店街:140商店街(累計)(㉘実績:66商店街)＞			○	・10件(30.3% 100件/3年に対する割合) ・210商店街(150%)
	③	商店街、観光地において、免税販売の手続きを一括で実施するとともに、観光情報、商品情報等の発信機能や休憩所機能等を備えた「京都免税おもてなしステーション(仮称)」の設置を支援し、商店街等への外国人観光客の集客力を向上させます。 ＜「京都免税おもてなしステーション(仮称)」の設置:5箇所(㉗新規)＞ ＜「京都免税おもてなしステーション(仮称)」での免税販売額:1億円(㉗新規)＞ ＜商店街における「京都免税おもてなしステーション(仮称)」、Wi-Fi、クレジット導入等買い物環境整備:100箇所(㉗新規)＞			△	・3箇所(開設準備中)(60%) ・0円(11月以降開始予定)(0%) ・77箇所(77%)
	④	府内300商店街を多言語で紹介するクーポン付きフリーペーパーを発行して外国人を中心とした観光客の誘客・購買を促進することにより、商店街への観光消費の取り込みを進めます。 ＜クーポン利用客数:60万人(㉗新規)＞			△	・295,000人(49.17%)
	⑤	府内300の商店街について、商店街の特色づくり、安心安全な環境づくり、商店街での学生グループや地域の団体の活動との連携や琳派400年記念事業による文化を切り口としたにぎわいづくりなど、それぞれの個性を活かした特色ある「一商一特商店街」づくりを推進します。 ＜「こだわり商店街」「コミュニティ商店街」など特徴のある事業に取り組む商店街数:140箇所(累計)(㉘実績:66商店街)＞ ＜新たな商品・サービスの開発件数:100件(㉗新規)＞			○	・145商店街(104%) ・76件(76%)
7	伝統産業の生産工程である分業体制が崩壊の危機に瀕している中、産地単位で官民一体の協議会を設置し、産地振興につながる需要拡大策や多能工職人等の育成を検討するとともに、分業体制の維持・再構築に向けた戦略を構築します。					
計画区分	京都力の発揮	産業革新・中小企業育成	伝統産業や生活文化産業が新たな発展を遂げること			
	①	分業体制の維持、再構築に向けて産地組合、支援機関、関係企業及び行政が一体となった協議会を設立し、産地振興につながる需要拡大策を検討するとともに、生産の各工程に精通した後継者の育成や官民一体の事業会社の設立、共同工場の設置など、各産地の実状に応じた対策の検討を進めます。 ＜対策協議会設立と戦略構築:5分野(西陣織、京友禅、京焼・清水焼、丹後ちりめん、織商)(㉗新規)＞			◎	・5分野を含めた分科会を設置(100%)
	②	府が業界団体等と一体となって、飲食店や宿泊施設で京もの工芸品が広く使用される仕組みをつくり、府全域で「京もの愛用運動」を展開します。 ＜新規京もの利用店舗数:20店舗(㉗新規)＞ ・京もの利用店舗、宿泊施設等で使えるプレミアム商品券の発行			○	・3店舗(柚子屋旅館、祇おん豆腐、永楽屋)(15%) ・商品券発行済み(100%)

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
達成手段 (数値目標)	③ 伝統産業の事業継続を支えるため、生産に不可欠な設備の更新や道具の確保を支援することで、伝統産業の生産基盤を守ります。 ＜伝統産業設備投資支援件数:100件＞	○	◎ ・205件(205%)
	④ 次代の伝統産業を担う人材の育成に向けて、伝統産業を目指す若年者の就職支援や若手職人の技術研さん・技術伝承を伝統産業界と連携して支援します。 ＜支援する若手職人等:50人(②⑥実績:43人)＞ ＜京もの認定工芸士の認定者数:15人(②⑥実績:12人)＞ ＜伝統工芸士認定者数:100人(②⑥実績:新規認定者18人、累計1,780人)＞		○ ・支援した若手職人等 49人(98%) ・京もの認定工芸士認定者数 12人(80%) ・伝統工芸士認定者数 24人(24%)
	⑤ 京都の学生にきものの素晴らしさを理解してもらい、和装文化を普及啓発するとともに、京都を「きものの似合うまち」として、推進することで和装需要の開拓に取り組みます。 ＜若年者のきもの体験参加者数:1,400人(②⑥実績:1,102人)＞ ＜きものパスポートサポーター登録者数:200人(②⑥実績:155人)＞		◎ ・きもの体験参加者数:1,838人(131%) ・きものサポーター登録者数:202人(101%)
	⑥ 「琳派400年」を契機とし、マーケットクリエイター等と連携した商品開発等を支援します。 ＜伝統産業の商品開発に向けた連携企業数:30企業＞		◎ ・連携企業数 52社(173%)
	⑦ 外国人観光客をターゲットに、きものをはじめとする伝統産業、能・歌舞伎などの伝統文化及び和食・日本酒など、京都にある本物のクールジャパンが体験できる新たなナイトツアーを構築し、伝統産業等の需要創出を進めます。 ＜ナイトツアー構築事業数:5件(⑦新規)＞		△ ・3件(60%)
	⑧ 「ミラノ万博」期間中に、ミラノ市内に店舗を持つデザイナーのアドバイスを受けて開発した新商品の販売やミラノでの集客イベントとタイアップし、京都の伝統工芸品を販売し、海外マーケットを開拓します。 ＜売上額:10,000千円(⑦新規)＞		△ ・6,080千円(60%)
	⑨ (西陣アート&クラフトセンター(仮称)) 「アートと交流」をテーマとした堀川団地の活力再生と伝統産業の新たな展開を推進するため、「西陣アート&クラフトセンター(仮称)」の建築事業に着手します。そのため、地元との協議、連携を推進します。		△ ・建築事業着手に向け、地元及び関係者等と継続協議中(40%)
	⑩ (文化財保存修復国際センター構想) オール京都で文化財保存の研究開発や修復を推進するため、京都国立博物館等、関係機関と連携して、けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)や新光悦村において文化財修復拠点を構築します。その第一段階として、人材育成セミナーや相談窓口の設置運営を行います。		○ ・人材育成セミナーの開催 9/26、12/19、3/19 ・相談窓口 京博等と継続狭義中
	⑪ こうした支援の結果、きもの売上を伸ばします。 ＜前年度生産量の維持(②⑥実績:西陣織物(帯地)生産:60万本、丹後ちりめん(白生地)生産:41万反、京友禅生産:42万反)＞		○ ・西陣織 53万本(88%) ・丹後ちりめん 35万反(85%) ・京友禅 42万反(100%)

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
Ⅲ ～京都イノベーション大作戦～ 将来の京都経済を牽引する新しい産業を創造し、京都版イノベーション構想を強力に進めます。			
8	中小企業の新事業を創出するため、産学公連携、企業連携による更なるオープンイノベーション推進の取組強化を図り、京都市から学研都市エリアを中心に京都イノベーションベルト構想を推進します。		
計画区分	京都力の発揮 産業革新・中小企業育成 異分野・異業種の交流や連携により、多様なイノベーションの取組が進むこと		
達成手段 (数値目標)	①	京都市から学研都市エリアを中心にR&D企業の立地を進め、イノベーションベルトを形成します。 <企業訪問:2,000件> <R&D企業立地件数:5件 (㊟実績:2件)>	◎ ・企業訪問件数 2,172件(109%) ・R&D企業立地件数 7件(140%)
	②	スーパーコーディネータによる大学や支援機関のコーディネータのネットワーク化によるプロジェクトを創成します。 <コーディネータ交流会活動から形成された内容による国プロジェクト等の獲得件数:5件 (㊟実績:3件)>	◎ ・6件(200%)
	③	試験研究開発から販路開拓・設備投資をパッケージ化した補助金・融資一体の支援により、先進的事例を創出します。 <先進的事例:50社>	◎ ・96社(192%)
	④	KICKの入居候補となる共同研究グループの新たな組成及び研究テーマの高度化を支援します。【政策企画部共管】 <支援件数:10グループ>	◎ 【再掲】
	⑤	KICKの本格的な利活用により、イノベーション創出を促進します。【政策企画部共管】 <平成27年度末の稼働事業者数:13件(㊟新規)>	◎ ・13件(100%)
	⑥	エコミック・ガーデニング等の支援制度を活用し、試作・開発に取り組みます。 <試作・開発の取り組みを開始した中小企業数:5社(㊟新規)>	◎ ・8件(160%)
9	けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)及び京都イノベーション推進拠点の積極活用により、大学・中小企業等による共同研究の組成・育成等を通じた、イノベーション創出を目指します。		
計画区分	京都力の発揮 産業革新・中小企業育成 異分野・異業種の交流や連携により、多様なイノベーションの取組が進むこと		
達成手段 (数値目標)	①	KICKの入居候補となる共同研究グループの新たな組成及び研究テーマの高度化を支援します。【政策企画部共管】 <高度化を実現した研究開発数:10件>	◎ 【再掲】
	②	KICKの本格的な利活用により、イノベーション創出を促進します。【政策企画部共管】【再掲】 <平成27年度末の稼働事業者数:13件(㊟新規)>	◎ 【再掲】
	③	京都イノベーション推進拠点を活用し、大学の技術シーズに加えて試作ニーズと中小企業とのマッチング活動を強化し、コーディネータや技術応援隊による産産連携促進も含めて、更なるオープンイノベーションの取組を進めます。 <マッチング件数:40件 (㊟実績:30件)> <試作品、新製品の開発件数:5件(㊟新規)>	○ ・マッチング件数 31件(78%) ・試作品、新製品の開発件数 8件(160%)
	④	未病改善につながる健康産業の創出と地域の健康課題を解決するため、きょうと健康長寿・未病改善センターの体制を構築し産学公連携による研究チームを組成します。【健康福祉部共管】 <未病改善産学公研究チーム組成:3チーム(㊟新規)>	◎ ・8チーム(266%)

運営目標			達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
10	国家戦略特区の活用本格化等により、研究開発成果の事業化を最速で行う「医療・ライフ分野の国際的なイノベーション拠点」づくりを推進します。			
計画区分	京都力の発揮 希望に輝く地域づくり 国家戦略特区等の活用など			
達成手段 (数値目標)	①	国家戦略特区の活用を念頭に、iPSを中心とした再生医療分野への府内中小企業の参入促進や、先端医療機器開発等のモデルプロジェクトづくりを推進します。 ＜参入企業、プロジェクト数：10件(26実績：2件)＞	◎	◎ ・15件(150%)
	②	エコノミック・ガーデニング推進センターの部会の下、福祉・健康・医療分野に進出しようとする中小企業の新製品の販路開拓を支援します。＜福祉・健康・医療分野に進出しようとする中小企業の新製品の販路開拓支援：30件(27新規)＞ 【再掲】		◎ 【再掲】
11	新たにエネルギー分野に挑戦する中小企業の育成等、京都発のグリーンイノベーション創出に向け、オール京都体制で、エコ・エネルギー産業の創出や中小企業のエコ・エネ化・省エネ化を支援します。			
計画区分	京都力の発揮 産業革新・中小企業育成 異分野・異業種の交流や連携により、多様なイノベーションの取組が進むこと			
達成手段 (数値目標)	①	早期にEMS(エネルギーマネジメントシステム)推進本部(仮称)を創設し、事業者や家庭の更なる省エネ・節電を推進します。【環境部共管】 ＜EMS支援件数 家庭(HEMS)：100件、業務ビル(BEMS)：20件、工場(FEMS)：10件 (26実績：40件、4件、10件)＞	○	○ ・E家庭(HEMS) 120件(120%) ・業務ビル(BEMS) 16件(80%) ・工場(FEMS) 10件(100%)
	②	省エネ、環境関連の研究開発プロジェクト、エコ課題に対する助成をします。 ＜助成件数：120件＞ “水素社会”の実現に向けて、水素インフラ整備の基本方針等を定めたビジョンを策定します。【環境部共管】	○	◎ ・助成件数 134件(134%) ・H27.12ビジョン策定(100%)
	③	エコ・エネ産業創出のため、中小企業の研究成果等の実用化を支援します。 ＜企業訪問：200件(27新規)＞ ＜実用化件数：20件(26実績：19件)＞		○ ・企業訪問 220件(110%) ・実用化件数 16件(80%)
	④	将来のエネルギーの中心的役割を担うと言われる水素関連産業への府内企業の参入を支援します。 ＜支援件数：10件＞ ＜関連技術の開発件数：5件(27新規)＞		◎ ・支援件数 13件(130%) ・関連技術の開発件数 6件(120%)
IV ～北から南まで、大交流による京都版地方創生～ 京都縦貫自動車道の全通を契機に、京都全域で地域の活力を創生します。				
12	オール京都体制で「琳派」400年関連イベントを支援し、京都を琳派一色に盛り上げます。			
計画区分	京都力の発揮 産業革新・中小企業育成 伝統産業や生活文化産業が新たな発展を遂げること			
達成手段 (数値目標)	①	秋の京都国立博物館の特別展覧会に併せて、「大琳派祭」伝統産業フェスティバルを開催します。【再掲】 ＜来場者数：10万人 (27新規)＞ ＜琳派関連イベント(テーブルウェアフェスティバル、琳派展での販売会、琳派ファッションショー)出展・参加事業者数：300事業者 (27新規)＞	◎	◎ 【再掲】
	②	「大琳派祭」の一環として、「琳派」饗宴プロジェクトマッピングを実施し、「大琳派祭」の集客を高めます。		◎ ・11月7日～9日実施、来場者数：8,184人(100%)
	③	「琳派400年記念」をテーマに、京都産業育成コンソーシアムを中心に、オール京都による首都圏販路開拓事業を実施し、京都の知恵を生かした商品や企業を発信するとともに、企業のビジネスマッチングにつなげます。 ＜出展企業：150社、来場者：15,000人 (27新規)＞		◎ ・出展企業 169社(113%) ・来場者 17,190人(115%)

運営目標			達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
13	「海の京都博」を皮切りに、海の京都、森の京都、お茶の京都及び西の京都の観光振興を推進し、観光交流人口を増大させるとともに、観光消費を増加させます。			
中期計画	京都力の発揮	産業革新・中小企業育成		
	<p>(観光消費拡大戦略) ① 府域の観光資源の魅力やおもてなし力の向上、外国人をはじめとした観光客の受け入れ体制の整備などを進め、観光誘客及び観光消費増大を図ります。【再掲】</p> <p>・京都府観光連盟のあり方検討会の実施により観光連盟の機能強化を図るとともに、観光協会、観光関係団体の連携を強化し、広域的なネットワークを構築します。</p> <p>・消費単価が高い外国人観光客を中心に、一層の観光誘客、観光消費の向上を目指し、早期に観光入込客数8,000万人、観光消費額一人当たり10,000円を達成します。 <H27年観光入込客数:8,000万人、観光客の一人当たり消費額:10,000円 (㊸実績:7,787万人、9,578円)></p> <p>・府域の観光資源の魅力やおもてなし力をアップし、京都観光の質の向上を目指します。 <府内を訪れた観光客の当該旅行に対する評価(満足度):74% (㊸実績:71%)></p>		◎	<p>・(H27.6.29)第1回あり方検討会、(H27.11.16)第2回あり方検討会・報告書作成 (100%)</p> <p>28年7月発表予定</p> <p>28年7月発表予定</p>
	<p>(海の京都) ② 「海の京都」のターゲットイヤー(H27)において、滞在交流型イベント「海の京都博」を地域が一体となって開催するとともに、官民一体となった「海の京都観光推進協議会」のもと、全国有数の観光地としてのブランドを形成します。</p> <p>・海の京都の認知度の向上と継続的な観光誘客を推進するため、「海の京都博」を開催 <国の認定を受けた「海の京都観光圏」の整備事業を民間事業者等と連携して実施:25事業 (㊸実績:23事業)></p> <p><各市町において「海の京都」の統一コンセプトに基づき、魅力ある景観形成を支援:15施設以上 (㊸実績:13施設)></p> <p><ロゴマーク統一や機能強化による海の京都観光圏案内所の整備:10箇所 (㊸新規)></p> <p><ジオパーク観光をはじめ、観光地域づくりマネージャーと連携した滞在型ツアーの実施:8ツアー以上 (㊸実績:8ツアー)></p> <p><TANTANロングライドで「海の京都」を全国からの参加者にPR:参加者数 1,500人 (㊸実績:1,380人)></p> <p><上記の取組等により、大交流1,000万人(年間入込客数)を創出></p>		◎	<p>・7/18~11/15で実施 (100%)</p> <p>・14事業 (56%)</p> <p>・9施設(申請は10施設、1件交付決定後に取り下げ) (60%)</p> <p>・12箇所 (120%)</p> <p>・31ツアー(コンセプトツアー7、体験プログラム24) (388%)</p> <p>・1,651人 (110%)</p> <p>28年7月発表予定</p>

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)	
達成手段 (数値目標)	<p>③ (森の京都) 「森の京都」の魅力観光資源として情報発信し、「森の京都」のブランドイメージの形成と、観光誘客を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「森の京都」ターゲットイヤー(H28)に向け、「森の京都音楽祭(仮称)」及び関連事業を開催 ・観光事業者、出版社、交通事業者等と連携した特集記事掲載の共同企画や「森の京都観光ツアー」を実施 ＜特集記事:4企画、ツアー:3企画 (㊤実績:3企画)＞ ・「森の京都観光推進協議会(仮称)」を設立し、森の京都の推進体制を構築 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・(H28.3.19)森のハーモニーコンサートin福知山、(H28.3.27)森の京都音楽祭「森の京都音楽祭」協賛イベント 9件(100%) ・特集記事 4企画(100%) ・ツアー 3企画(京都定期観光バス:3企画)(100%) ・森の京都観光協議会(H27.6.29設立、H27.9.15第2回開催)、森の京都音楽祭実行委員会(H28.1.12)(100%) 	
	<p>④ (お茶の京都) 「お茶の京都」の魅力観光資源として情報発信し、「お茶の京都」のブランドイメージの形成と、観光誘客を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光事業者、出版社、交通事業者等と連携した特集記事掲載の共同企画の実施、「お茶の京都観光ツアー」の造成と定期観光バスツアーとしての運行 ＜記事掲載:4企画、ツアー:3企画 (㊤実績:3企画)＞ ・「お茶の京都観光協議会(仮称)」の運営による、お茶の京都推進体制の強化 ・「抹茶スイーツ」「茶畑景観」等の「お茶の京都」の魅力を楽しめる初心者向けサイクルイベントの開催 		◎	<ul style="list-style-type: none"> ・記事掲載 5企画、ツアー 3企画(114%) ・お茶の京都観光協議会(6回開催)(100%) ・9/13実施 参加者157人(募集人数160人)(100%)
	<p>⑤ (新しい京の旅) 「京都縦貫自動車道」の全線開通等によるアクセスの向上や新たな魅力的な観光資源を活用し、「新しい京の旅」による観光誘客を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ＜京料理をはじめ和食の魅力を体感することができる「京都・和食の祭典」開催:参加者 4,000人 (㊤実績:3,500人)＞ ＜「京の七夕」、「鴨川納涼」による誘客増:来場者 80万人 (㊤実績:65万人)＞ ＜府域全域での「京の七夕」イベント(淀川三川ふれあい交流七夕まつりなど)の開催支援:28事業 (㊤実績:26事業)＞ ＜宿泊型・通年型観光の更なる拡大を目指す「京都花灯路」の誘客増:来場者 220万人 (㊤実績:206万人)＞ ＜京都総合観光案内所(京なび)における桜、紅葉などテーマ企画の展開:23企画 (㊤実績:20企画)＞ ・京都縦貫自動車道の開通に合わせ、NHK大河ドラマ誘致活動及び「京都・西の観光」観光PRイベントを実施 ＜「京都・西の観光推進協議会」による、交通事業者、観光関連事業者等が連携した「新しい観光メニュー」の造成:4企画＞ ・「京都大学花山天文台」を活用した、「ナイトツアー」の造成 		○	<ul style="list-style-type: none"> ・5,000人 (125%) ・76万人 (95%) ・31事業 (125%) ・256万人 (116%) ・24企画(104%) ・7月12日開通イベントで「京都・西の観光」PR、6月9日NHKに要請 (100%) ・4企画 (100%) 関係機関と協議を実施

運営目標			達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)	
	⑥	<p>(スポーツ観光) 各地域の特性や環境を活かした滞在交流観光の定着を図るため、スポーツ観光を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「スポーツ観光推進プラットフォーム」を設置し、スポーツ観光に関する情報共有・発信を推進 <p><スポーツ観光の聖地を目指す市町村への支援:2市町村以上></p> <p><TANTANロングライドで「海の京都」を全国からの参加者にPR:参加者数 1,500人 (②⑥実績:1,380人)>【再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「抹茶スイーツ」「茶畑景観」等の「お茶の京都」の魅力を楽しめる初心者向けサイクルイベントの開催【再掲】 	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・設置済み (100%) ・2市町 (100%) ・1,651人 (110%)【再掲】 ・9/13実施 参加者157人(募集人数160人) (100%)【再掲】 	
14	<p>京都舞鶴港を京都府の物流ネットワークの拠点とし、関西経済圏における日本海側ゲートウェイとしての役割をさらに発揮するため、対岸諸国との定期航路を拡充するとともに、クルーズ客船の誘致に取り組み、京都舞鶴港の機能を強化します。</p>				
計画区分	京都力の発揮	産業革新・中小企業育成	日本海側拠点港に選定された京都舞鶴港を通じた交易が活発化すること		
達成手段 (数値目標)	①	<コンテナ取扱量:15,000TEU (②⑥実績:9,082TEU)>		△	・コンテナ取扱量 8,620TEU(57%)
	②	<p><日韓露フェリーを利用した出入国者の数:5,000人(②⑦新規)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日韓露フェリーの利用拡大のための物流振興組織の設立 		△	<ul style="list-style-type: none"> ・出入国者数:約440人(9%) <p>(参考) 平成27年7月から延伸運航が開始され、8月から毎週1便の定期航路化を実現。韓国・ロシアからの直行航路でないため、旅客の取扱は極めて少ない。集荷に関しては、船社・フォワーダーと共同で、京都市内、府南部地域の企業を中心にローラー訪問を行い、今まで利用のなかった企業などから順調に集荷が進んでいる。</p>
	③	<p><クルーズ客船の寄港決定数:18寄港 (②⑥実績:15寄港)></p> <p><クルーズ船乗客数:10,000人></p>		○	<ul style="list-style-type: none"> ・寄港決定数 17回(うち2は宮津港)(94%) ・乗客数 約9,600人(宮津港・伊根湾寄港を含む)(96%)
	④	<貿易取扱量:1,131万t (②⑥実績:1,075万t)>		○	・貨物取扱量 1,103万t(98%)
	⑤	<定期航路数:4航路 (②⑥実績:3航路)>		◎	・定期航路数 4航路(100%)

運営目標			達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)		
15	京都舞鶴港と京都府南部に、対岸諸国と京阪神、太平洋ベルト地帯等、日本の東西南北を結ぶ国内外物流のハブ拠点及び物流ネットワークを構築します。		○	○		
計画区分	京都力の発揮 産業革新・中小企業育成 日本海側拠点港に選定された京都舞鶴港を通じた交易が活発化すること					
達成手段(数値目標)	①	<p><物流企業の立地強化> 高速道路網の完成を見据えて、物流企業の立地を強化します。また、地元物流企業や製造、流通、IT、大学等による物流コンソーシアムを結成し、共同配送の仕組みづくりや物流機器の研究開発等により、物流サービス機能を強化します。</p> <p><物流企業の立地:10社(⑦新規)> <物流効率化のための「物流ネットワーク(仮称)」への参画者数:10社(⑦新規)></p>	○	<ul style="list-style-type: none"> ・物流企業の立地 4件(40%) ・物流ネットワーク 8社(80%) 		
16	「産業立地促進プロジェクト」をフル稼働させ、交通アクセスの向上効果を前面に打ち出した戦略的企業誘致を推進します。		◎	◎		
中期計画	京都力の発揮 産業革新・中小企業育成 府内各地への産業立地が進み、雇用が創出され、地場産業が活性化すること					
達成手段(数値目標)	①	<p>金融機関との連携、企業懇談会やセミナーの開催、京都府参与や東京事務所駐在職員の配置などにより、特に首都圏を強化して誘致対象企業を開拓するとともに、府内立地企業のフォローアップに努めて、精力的に企業訪問を行います。</p> <p><企業訪問件数:2,000件>【再掲】</p>			◎	<ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問件数 2,172件(109%)
達成手段(数値目標)	②	<p>地域特性を活かした新たな企業立地を推進します。特に京都縦貫自動車道の全線開通等交通アクセスの向上効果等を打ち出した北部地域への重点的な企業誘致を行います。</p> <p><新規企業立地:40件:北部10件(うち三和2件)、中部5件(うち新光悦2件)、南部25件></p>			◎	<ul style="list-style-type: none"> ・新規企業立地 40件(100%) ・北部11件(うち三和1件)、中部2件(うち新光悦0件)、南部27件
達成手段(数値目標)	③	<p>企業誘致により、地元雇用者数を増加させます。</p> <p><誘致企業における地元雇用者数:300人(⑳~㉕平均実績:280人)></p>	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・誘致企業における地元雇用者数 512人(171%) 		
17	プレミアム商品券の発行や京もの祭等の開催により消費を喚起し、地域経済の活性化につなげます。		○	◎		
計画区分	京都力の発揮 産業革新・中小企業育成 伝統産業や生活文化産業が新たな発展を遂げること					
達成手段(数値目標)	①	<p>市町村との協同で、地域で使えるプレミアム商品券を発行することにより、各地域における消費を刺激し、地域経済を元気づけます。</p> <p><商品券での消費額:140億円(⑦新規)></p>			◎	<ul style="list-style-type: none"> ・商品券の発行(販売)総額 約141億円(101%)
達成手段(数値目標)	②	<p>府の重点施策と連動したプレミアム商品券を発行することにより、一過性ではなくそれぞれの重点施策の次の展開に役立てるとともに、地域経済を元気づけます。</p> <p><商品券での消費額:30億円(⑦新規)></p>			△	<ul style="list-style-type: none"> ・商品券の販売総額 約22億円(73%)
達成手段(数値目標)	③	<p>(京もの祭) 商工会・商工会議所等が地域の消費喚起のため府内で開催する物産展等を支援します。</p> <p><来場者数:35,000人 売上:2,500万円></p>	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・来場者数 78,000人(223%) ・売上 2,165万円(87%) 		
18	京都ちーびず推進員と連携し、地域の「力」を引き出す仕事づくりや、企業とのコラボを推進して広く普及するとともに、府民ニーズの高い課題やテーマ別に効果的にちーびずを推進します。		◎	◎		
計画区分	京都力の発揮 産業革新・中小企業育成 特色ある多様な中小企業が育ち、発展すること					
達成手段(数値目標)	①	<p>(京都ちーびず支援) ちーびずを推進するため、資金支援や先進的实践者等と協働・連携した人材育成を進めるとともに、府庁女子ちーびず応援チームを設置して、横連携しながら、様々な分野でちーびず創出に向けた支援をします。</p> <p><人材育成:20人> <ちーびず創出数:50件(⑥実績:46件)></p>	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成 20人(100%) ・ちーびず創出数 61件(122%) 		

運営目標				達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
達成手段 (数値目標)	<p>② (京都市ちびず活動の発信) 応援ネットワークを広げ、販路開拓や担い手を増やすため、ちびずの取組を発信して、アピールします。 <発信件数:150件></p>			◎	・発信件数 150件(100%)
	<p>③ (京都市ちびず推進員による推進) 各地にちびず推進拠点及びちびず推進員を配置し、府民協働による実践的支援でちびずを推進します。 <推進拠点及び推進員 8件(⑦新規)></p>			◎	・推進拠点数及び推進員 8件(100%)
19	次代を見据えた未来戦略に機動的に取り組み、発展し続ける地域を実現するため、みやこ構想をセカンドステージへと進めています。				
計画区分	京都力の発揮	希望に輝く地域づくり	みやこ構想の実現		
①	<p>(北京都ものづくり拠点構想) 北部リサーチパーク(仮称)を具体化し、産業人材の育成や産学公連携による新産業育成などを推進し、丹後・中丹地域を中心としたものづくり産業の集積と高度化を推進します。 <北部リサーチパーク構想の具体化、産学公連携共同研究開発の推進:研究開発数 8件(⑦新規)> <人材育成や工織大等と連携した産学公連携等の機能整備の推進、研究成果発表:研究成果数 3件(⑦新規)> ・地元企業、綾部市、工織大との連携</p>			◎	<ul style="list-style-type: none"> ・北部リサーチパーク構想の具体化、産学公連携共同研究開発の推進:研究開発数 10件(125%) ・人材育成や工織大等と連携した産学公連携等の機能整備の推進、研究成果発表:研究成果数 4件(133%) ・地元企業、綾部市、工織大との連携→トップ級会議開催によるコンセプトの確認、ワーキンググループによる必要ソフト機能の検討(100%)
②	<p>(新京都伝統工芸ビレッジ構想) 「森の京都クラフトモール」の核施設として、京都新光悦村に職人工房を整備するとともに、「森の京都」ゆかりの素材を使い、工房と企業、デザイナー等とのコラボによる製品等の展示販売会を開催します。 ・「森の京都クラフトモール」形成計画の策定 <展示販売会来場者数:700人(⑦新規)></p>			◎	<ul style="list-style-type: none"> ・形成計画を策定(100%) ・展示販売会来場者数 800人(114%)
③	<p>(京都クロスメディア構想) クロスメディアクリエイティブセンター(KCC)を中心に、海外展開やコンテンツ関連企業の立地を促進するとともに、異業種の企業間交流や人材育成、映画の国際共同制作など、コンテンツのクロスメディア化を推進する体制を強化して京都のブランド産業として大きく発展させ、クロスメディアコンテンツ産業の育成を強力に推進します。 <コンテンツ関連企業を中心とした企業支援:160件(⑥実績:160件)> <若手クリエイターの育成者数:80人(⑥実績:77人)> ・KCCの本格展開に向けた検討の実施 ・東京や海外との連携強化による映画・映像産業振興の拡充。京都チャンネル(仮称)の開設</p>			◎	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツ関連企業を中心とした企業支援 168件(105%) ・若手クリエイターの育成者数 81人(101%) ・KCCの本格展開に向けた検討の実施→協定仲介、推進会議開催準備ほか(100%) ・東京や海外との連携強化による映画・映像産業振興の拡充。京都チャンネル(仮称)の開設→TIF連携事業の実施、デモイメージ作成(75%)
④	<p>(知恵産業首都構想) 「京都産業育成コンソーシアム」のもと、中小企業が知恵を学び、知恵に気付き、知恵を生かして生き生きと成長できる「知恵産業のまち・京都」を構築するため、「京都知恵産業支援共同事業」を府市協働で進めるとともに、「知恵の経営」等の事業のワンストップ化を進めます。 <知恵の経営認証企業:30社(⑥実績:14件)> <「京都知恵産業支援共同事業」支援件数:50件(⑥実績:48件)></p>			◎	<ul style="list-style-type: none"> ・知恵の経営認証企業 30社(100%) ・「京都知恵産業支援共同事業」支援件数 33件(66%)

運営目標			達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)	
V ~ビジットKYOTO・インベストKYOTOキャンペーン~ 京都倶楽部を活用しインバウンド・海外販路開拓・対日投資を一層促進させます。					
20	「京都倶楽部」の活用や上海BSCの強化、ジェトロ京都等との連携により、府内中小企業の海外販路開拓と外資系企業の誘致を進めます。				
計画区分	京都力の発揮	産業革新・中小企業育成	府内企業による輸出拡大や海外企業の府内投資が進むこと		
達成手段 (数値目標)	①	海外市場の最新情報を収集し、府内中小企業の海外展開や外資系企業の誘致に活用することを目的に、京都出身者や現地進出の府内企業等で構成する「京都倶楽部」を世界の主要都市に創設します。 <京都倶楽部創設箇所数:15箇所(上海、北京、香港、台湾、ソウル、シンガポール、ニューヨーク、シアトル 等)> <京都倶楽部会員数:1,000人(㉗新規)>			
	②	府上海ビジネスサポートセンターのセカンドステージの展開、及び「京都倶楽部」の活用やジェトロ京都との連携による支援機能強化により、府内中小企業の海外販路開拓支援を強化します。 <販売額:500,000千円(㉖実績:270,070千円)> <新たに海外販路開拓に取り組む企業数:100社> <新たな国外取引先数:100箇所 (㉖未実績:約100箇所)>			
	③	京都倶楽部やジェトロ京都の海外事務所ネットワーク、ノウハウ等を活用し、企業経営者等海外人材を京都に招へいしての京都の地域資源に対する理解促進や京都企業とのビジネスマッチングなどにより、対日投資を促進します。 <外資系企業立地件数:3件 (㉖実績:3件)>			
21	2020年の東京オリンピック・パラリンピックも視野に、京都倶楽部を活用してインバウンドを促進し、観光誘客及び観光消費を戦略的に拡大します。				
中期計画	京都力の発揮	産業革新・中小企業育成			
	①	(観光消費拡大戦略) 府域の観光資源の魅力やおもてなし力の向上、外国人をはじめとした観光客の受け入れ体制の整備などを進め、観光誘客及び観光消費増大を図ります。 <外国人宿泊者数:1.5倍増(㉗新規)> ・消費単価が高い外国人観光客を中心に、一層の観光誘客、観光消費の向上を目指し早期に観光入込客数8,000万人、観光消費額一人当たり10,000円を達成します。【再掲】 <H27年観光入込客数:8,000万人、観光客の一人当たり消費額:10,000円 (㉖実績:7,787万人、9,578円)> ・府域の観光資源の魅力やおもてなし力をアップし、京都観光の質の向上を目指します。【再掲】 <府内を訪れた観光客の当該旅行に対する評価(満足度):80% (㉖実績:71%)>			
				平成28年7月発表	
				○	【再掲】
				【再掲】	

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
達成手段 (数値目標)	<p>② TVメディアを中心に海外プロモーションを展開するとともに、「旅館等宿泊施設の外国人おもてなし推進協議会」を立ち上げるなどして、府域全体のおもてなし力向上を支援する仕組みをつくり、外国人観光客の満足度を高め、過去最高の外国人宿泊者数達成を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府域を中心とした外国人宿泊者数過去最高 ＜海外TVメディア招へい及び海外TV等での京都紹介件数:25件(㉗新規)＞ ＜府内を訪れた観光客の当該旅行に対する評価(満足度):80%(㉕実績:71%)＞【再掲】 <p>＜京都府域を訪れ宿泊する外国人観光客のさらなる増加を目指します。H27年外国人宿泊客数:129万人(㉕実績:115万人)＞</p> <p>＜関西広域連合と連携し、東南アジアをターゲットとするトッププロモーションを通じて、京都観光の魅力をアピールします。2ヶ国(㉕実績:2ヶ国)＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都倶楽部のネットワークを活用した観光PRや、現地の観光ニーズの収集に努めます。 ・府内における国際会議の開催を招致するとともに、エクスカッションやアフターコンベンションを通じた地域の消費拡大を図ります。 ＜国際会議招致件数:189件(㉕実績:180件)＞ ・海外での京都物産展を通じ、京都の魅力発信を強化します。 ・クルーズ船や日韓フェリーの乗船客に対し、海の京都との連携も含めた府内をめぐる周遊コース等での誘客を図ります。 ・関西地域振興財団と連携して海外のメディアや旅行者等を招待するファミトリップ等、海外現地での京都観光の発信を強化します。 ・3府県連携によるジオパーク観光など、広域での情報発信により観光誘客に取り組みます。 ・海外からの教育旅行を積極的に誘致します。＜36件(㉖実績:36件)＞ ・海外のラグジュアリー層をターゲットに、和婚の受け入れを進めます。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・海外TVメディア招へい及び海外TV等での京都紹介件数 71件(284%)
	28年7月発表予定		<ul style="list-style-type: none"> ・マレーシア、シンガポール(100%)
	28年6月発表予定		<ul style="list-style-type: none"> ・マレーシア、シンガポールで実施(100%) ・クルーズ船は、日帰りツアー造成等に対応済(100%) ・ファミ、旅行博、現地商談会等(100%) ・ジオパーク連携、京滋連携、滞在型実施済(100%) ・33件(91%) ・香港ファミ、台湾プロモーション(ファミ、キャンペーン)(100%)
	◎		<ul style="list-style-type: none"> ・府内観光案内所等でのWi-Fi整備 1箇所(7%) ※NTT、Wi2が京都府仕様Wi-Fiを667箇所を整備済 ・観光案内所での翻訳システム等の多言語対応環境の整備 1箇所(5%) ・外国人観光客の消費拡大:とれとれセンターで実施
	△		<ul style="list-style-type: none"> ・8/20～10/1開催(全6回)受講者20名(100%) <p>【再掲】</p>
④	<p>商店街、観光地において、免税販売の手続きを一括で実施するとともに、観光情報、商品情報等の発信機能や休憩所機能等を備えた「京都免税おもてなしステーション(仮称)」の設置を支援し、商店街等への外国人観光客の集客力を向上させます。【再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ＜「京都免税おもてなしステーション(仮称)」の設置:5箇所(㉗新規)＞【再掲】 ＜「京都免税おもてなしステーション(仮称)」での免税販売額:1億円(㉗新規)＞【再掲】 ＜商店街における「京都免税おもてなしステーション(仮称)」、Wi-Fi、クレジット導入等買い物環境整備:100箇所(㉗新規)＞【再掲】 	△	【再掲】
⑤	<p>(ミラノ国際博覧会)</p> <p>オール京都で開催する京都ウィークや関連事業を通じ、日本料理アカデミーと連携した京の食文化の発信等により、観光誘客を図ります。</p>	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・京都ウィーク6月7日～6月11日で情報発信(100%)

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
VI ～未来の京都を支える人材創出・人材確保プロジェクト～ 京都産業を支える新たな正規雇用8千人を創出し、雇用の安心・安定を実現します。			
22	若者の就職等をオール京都で支援するため、「京都府若者の就職等の支援に関する条例(仮称)」を制定し、新たに施策を実施します。		
中期計画	府民安心の再構築 働きの安心 若者がキャリアアップを図れ正規雇用が拡大すること		
達成手段 (数値目標)	① 若者が希望と能力に応じた職業に就くことができるようにするとともに、若者の職業の安定を図るため「京都府若者の就職等の支援に関する条例(仮称)」を制定し、実施方針を策定の上、若者の就職等の支援を総合的に実施します。 <新卒者就職率 大学・短大95.0% 高校99.0% (26.3月卒:92.2%、98.1%)> <不本意非正規雇用者率を低下させます。JP利用者:15% (27.2月現在:18.1%)> <新卒後3年以内の離職率(25.3卒) 大学卒35.0% 高校卒45.0% (23.3卒:36.6%、48.3%)>	○	・7月28日条例施行(100%) ・新卒就職率(H28.3卒)大学・短大94.9%(100%)、高校98.0%(99%) ・高校87.7%(1月末現在)(89.4%) ・不本意非正規13.8%(109%) ・3年以内離職率未発表(-)
	② (就職支援) 【京都ジョブパーク若手人材コーナーにおける就職支援】 <新規登録者 2,100人 (26実績:1,987人)> <就職内定者数 1,800人 うち正規雇用就職内定者数 1,200人 (26実績:1,652人、999人)> <京都JPカレッジ 就職率80%以上 (26実績:69.9%)> <離職者等再就職訓練 就職率80%以上 (26実績:80.1%)> <高等技術専門学校(施設内訓練) 卒業生就職率100% (26実績:93.5%)> <求職者支援訓練 ※国の訓練 就職率(基礎コース)55%以上 (実践コース)60%以上 (26実績:52.7%(1月末時点)> <高齢・障害・求職者雇用支援機構(施設内訓練) ※国の訓練 卒業生就職率84% (26実績:79.3%)> <就職支援計画認定件数 20件 (27新規)> <計画認定事業による若者支援者数 100人 (27新規)> <京都わかもの受入事業所(仮称)認証件数 10件 (27新規)> ・国の企画競争資金を活用し、就職困難者を対象に人手不足分野での安定雇用を目指す新たな人材育成事業を実施	○	・JP新規登録者 2,146人(102%) ・就職内定者1,837人(102%)、うち正規1,230人(103%) ・JPカレッジ就職率:78.8%(99%) ・離職者再就職訓練就職率 78.7%(98%) ・高等技術専門学校卒業生就職率 94.4%(94%) ・求職者支援訓練就職率基礎コース46%(84%)、実践コース58%(97%) ・施設内訓練就職率 83.8%(100%) ・就職支援計画認定件数 13件(65%) ・支援者数65人(65%) ・認証件数:0件(0%) ・人手不足分野での人材育成事業:「若者就職支援等推進事業」を実施(100%)
	③ (定着支援) <就労環境向上アドバイザーの派遣件数 1,000件 (26実績:220件)> <就労環境の向上の取組に対する助成件数 50件 (26実績:41件)> <京都ジョブパーク利用者定着率(3ヶ月後) 90% (26実績:83%(2月末時点))>	○	・派遣件数 1,035件(104%) ・助成件数 50件(100%) ・定着率 84.1%(93%)
	④ (キャリア教育の推進) <大学生の早期インターンシップ参加者数 500人(27新規)> <有償型職場体験の参加者数 50人(27新規)> <高校生・大学生等若年者への出前講座 50件、4,000人 (26実績:44件、3,244人(2月末時点))>	△	・インターンシップ参加者数 137人(27%) ・有償型職場体験参加者数 6人(12%) ・出前講座 50件、3,866人(100%)

運営目標			達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
23	雇用情勢の変化に対応し、中小企業の「人材確保対策」にシフトするとともに、「人づくり、正規雇用拡大、処遇改善・定着支援」により正規雇用8千人を創出します。			
中期計画	府民安心の再構築 働きの安心	若者がキャリアアップを図れ正規雇用が拡大すること		
達成手段 (数値目標)	①	<p>(人材確保対策) 国の企画競争資金を活用し、就職困難者を対象に人手不足分野での安定雇用を目指す新たな人材育成事業を実施するとともに、企業の魅力発信や、求職者に対して求人情報を提供することにより、中小企業の人材確保を支援します。 <大学生の早期インターンシップ及び有償型職場体験の参加者数 550人(⑰新規)>【再掲】 ・府北部地域の人材育成・確保のため、「京都市ごと支援プロジェクト」を実施 【京都ジョブパークにおける人材確保対策】 <求人開拓数 22,000人(⑳実績:22,109人) うち正規雇用求人数 13,200人(㉑実績:13,005人)> <京都ジョブナビ掲載企業数 3,700社(㉒実績:3,300社)> <京都ジョブナビアクセス数 100万回(㉓実績:833,238アクセス)></p>	○	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ参加者数:137人(27%)【再掲】 ・「京都市ごと支援プロジェクト」:実施済み(100%) ・JP求人開拓 22,934人(104%) ・うち正規求人 13,274人(101%) ・ジョブナビ掲載企業数 3,607社(97%) ・ジョブナビアクセス数 915,249アクセス(92%)
	②	<p>(人づくり) 国と府の全ての訓練等について、総合的な計画の策定や一体的な広報を実施するとともに、職業訓練機関と京都ジョブパーク、ハローワーク等の就業支援機関が連携を強化し、相談・訓練から就職までを一貫して支援する「国・府一体人づくり事業」を推進します。 <京都JPカレッジ 就職率80%以上(㉔実績:69.9%)>【再掲】 <離職者等再就職訓練 就職率80%以上(㉕実績:80.1%)>【再掲】 <高等技術専門学校(施設内訓練) 卒業生就職率100%(㉖実績:93.5%)>【再掲】 <求職者支援訓練 ※国の訓練 就職率(基礎コース)55%以上(㉗実績:69.8%(1月末時点)) (実践コース)60%以上(㉘実績:52.7%(1月末時点))>【再掲】 <高齢・障害・求職者雇用支援機構(施設内訓練) ※国の訓練 卒業生就職率84%(㉙実績:79.3%)>【再掲】 ・国の企画競争資金を活用し、就職困難者を対象に人手不足分野での安定雇用を目指す新たな人材育成事業を実施【再掲】 ・時代に相応しい府立高等技術専門校の訓練内容への見直しを検討</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> ・JPカレッジ就職率 78.8%(99%)【再掲】 ・離職者再就職訓練就職率 78.7%(98%)【再掲】 ・高等技術専門学校卒業生就職率 94.4%(94%)【再掲】 ・求職者支援訓練就職率 基礎コース46%(84%)【再掲】 ・実践コース58%(97%)【再掲】 ・施設内訓練就職率 83.8%(100%)【再掲】 <p>人手不足分野での人材育成事業「若者就職支援等推進事業」を実施(100%)【再掲】 ・府立高技専訓練内容見直し 京都府産業人材育成委員会にて再編案を策定(100%)</p>
	③	<p>(正規雇用拡大) <正規雇用創出 8,000人(㉚実績:7,603人(2月末時点))> ・雇用の「量的確保」に加えて「質的向上」も目指し、京都ジョブパークを中心に正規雇用の創出を図ります。 <新規登録者 15,000人(㉛実績:14,451人)> <就職内定者数10,000人 うち正規雇用就職内定者数 5,500人(㉜実績:9,145人、4,939人)> <正規雇用求人数 13,200人(㉝実績:13,005人)> ・「京都わかものハローワーク」との共同支援の実施 ・京都人材銀行、産業雇用安定センターと連携した就職支援の実施 国の戦略産業雇用創造プロジェクトを活用し、正規雇用の割合が高い「ものづくり産業」を対象に産業政策と雇用政策を「オール京都」体制で一体的に推進することにより、良質で安定的な雇用を創出します。 <「京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト」による雇用創出数 800人(うち正規雇用80%以上)></p>	○	<ul style="list-style-type: none"> ・正規雇用創出 7,179人(1月末)(90%) ・JP新規登録者数 15,837人(106%) ・JP就職内定者数:10,361人(104%)、うち正規雇用6,161人(112%) ・正規求人数:13,274人(101%) ・「わかものハローワーク」との協働支援:実施中(100%) ・京都人材銀行、産業雇用安定センターとの連携:実施中(100%) ・次世代ものプロ1,817人(うち正規雇用85%)(227%)
	④	<p>(処遇改善・定着支援) 非正規率の高い教育・学習支援業、宿泊業・飲食サービス業、卸売業・小売業を主なターゲットに、多能工の育成による正規化を進めるとともに、中小企業人材確保センター等による正規雇用求人の開拓や、各種支援制度の浸透を行い、労働者の賃金上昇、安定雇用の拡大を図ります。 <人確センターで開拓した上記3業種の正規雇用求人率:65%(現行59%の1割増)(㉞新規)> <北部での人材育成:100人(㉟新規)></p>	○	<ul style="list-style-type: none"> ・正規求人率 65.1%(100%) ・北部での人材育成 217人(217%)